



今月の一棟：日高市F様邸



歳時記

11月23日(勤労感謝の日)は「勤労を尊び、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日」と1948年に法律で定められました。戦前11月23日は「新嘗祭」(にいなめさい/しんじょうさい)で農作物の恵みを感じる日でした。日々の労働に対して「農作物」という形のあるものが目に見えて返ってくることが少ない現代で、勤労の目的を再認識する日という意味がこめられているようです。

ビー・える・にゅーすれたー

1. 「上棟式」ってご存知ですか？

『上棟式』は建前(たてまえ)とも呼び、棟上げ*1)まで工事が終了したことを感謝するものです。近年の上棟式は“儀式”というよりお施主様が職人をもてなす“お祝い”という意味が強くなっており、都市部では省略されるケースがほとんどです。しかしながら、人とのつながりを再認識することで“家づくり”を通じて豊かな“心づくり”を形成できることも事実です。そのような観点で上棟式をご検討されてみてはいかがでしょうか。*1) 骨組みを組み立て、最上部に棟木(むなぎ)を上げること。

～建前の語源～

ある女性を供養するために始まったという言い伝えがあります。ある高名な棟梁が建前の前夜、玄関の柱が短いことに気付きました。明日の建前が無理だと悟った棟梁はそのことを恥じ、自殺まで考えるほど思いました。そのことを知った妻は、夫に酒を勧めて眠らせ一晩中考えた末、不足を枡(マス)で補うという名案を思いつきます。建前の朝、目覚めた夫に妻は無言で3つの枡を差し出しました。夫はすぐに妻の考えを悟り、一升・五合・一合の枡を組み合わせ、無事に建前を迎えることができました。ところが、このことが外に漏れることを恐れた棟梁は妻を殺してしまったのです。そして、その弔いとして棟に女の七つ道具である口紅・白粉・櫛・かんざし・鏡・かつら・こうがい飾りました。建前にこだわるあまり妻を殺してしまった男の見栄や意地に、本音で応じた女の悲話が「本音と建前」の語源となったというのが通説ようです。



上棟時、棟の最上部につける幣串



笠幡モデル 上棟中

Information

完成現場見学会

11月21,22,23日(土-月)
10:00 17:00
吉見町南吉見 1712-167



詳細はチラシ、弊社HPをご覧ください。

12月5,6日(土、日)
10:00 17:00
所沢市山口 1307-5



ホームページ: www.blbuild.co.jp / ブログ: http://blogs.yahoo.co.jp/r3d_office



より良い住空間を創造する

株式会社ビー・エル・ビルド

■建設業登録/国土交通大臣許可(一給-15)第20428号 ■ビルド一級建築士事務所登録/知事登録(4)第1781号 ■住宅性能保証制度登録/登録番号21015059

お問い合わせ先

(株)ビー・エル・ビルド

〒350-1175 川越市笠幡 210

TEL: 0120-071-500

TEL: 049-233-4441 FAX: 049-233-4446

E-mail: kikakusitu@blbuild.co.jp